

# とよた市議会だより



令和3年1月21日撮影



令和3年2月24日撮影



令和3年5月18日撮影

写真提供:街路課

## 目次

■トップインフォメーション	市議会の役割	2
■議案審議結果		4
■討論		5
■常任委員会		6
■一般質問	市政を問う! 21人の議員が質問	8
■トピックス	全国市議会議長会表彰 豊田市議会ホームページ	12

### 表紙の写真 (議案第72号関係)

都市計画道路高橋細谷線竜宮橋  
橋りょう整備工事の様子です。今回  
の工事請負契約では、矢作川左岸  
側の護岸工及び根固め工が実施さ  
れます。

## 定例会号

### 6月市議会

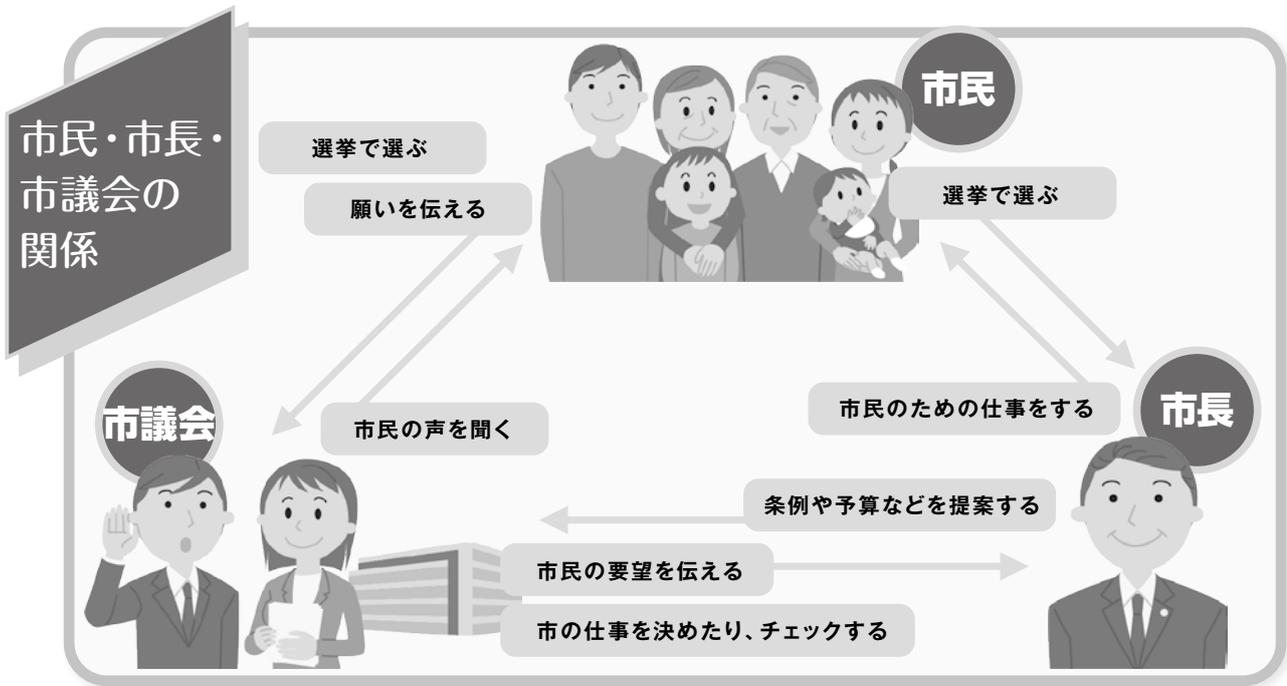
令和3年8月1日



# 市議会の役割

市議会の役割は、市民の皆さんにとって住みやすいまちをつくるために必要な条例(決まり)や予算※を決めることです。その決定に沿って、市長が実際にまちづくりを進めていきます。

どちらも選挙で選ばれる市民の代表ですが、市議会と市長はお互いに独立した対等な立場(二元代表制)で、必要な議論を重ねて、足りないところは補い合ったりしながら、豊田市を住みやすいまちにするために活動しています。



## 議会ではどのように話し合いをしているの

市議会では議会に提出された市の条例や予算・決算※などの議案※の内容をチェックします。

本会議の限られた時間の中で、議案を詳細まで審査することは大変難しいことです。そこで、委員会という担当を分担し、詳しく話し合いをする会議を作り、その中で、議案をさらに詳しく審査しています。現在、本市では6つの常任委員会(企画総務、地域生活、教育社会、環境福祉、産業建設、予算決算)を設置しており、議会の内容によって、委員会へ付託※しています。

その後、委員会での話し合い(審査)を経て、本会議で最終的に個々の議案について賛成か反対かを明らかにしていきます。

※予算…市のお金(税金等)をどのように使うか計画を立てたもの

※決算…最終的にお金(税金等)をいくら使ったか整理したもの

※議案…市議会に提案され話し合われる案件

※付託…議案の詳しい話し合いや研究を委員会にゆだねること



公園が  
できるまで

市議会ではこのように話し合われています。

**1 本会議 (質疑)** 場所は?  
広さは?  
金額は?

議題について議員が質問したり、委員会での話し合いの結果を聞きます。



契約が認められ、公園の建設が決定されます。

付託(ふたく) 報告

**2 委員会 (質疑・採決)**

議題の中身を本会議より細かく話し合います。

**3 本会議 (採決)** 賛成! 反対!

議員の多数決によって賛成か反対かが決まります。

議題／公園を  
建設する契約について

## 議会はいつ開催されているの

話し合いの場である議会は、定例会が年4回(3、6、9、12月)開かれ、その中で、一般質問や議案質疑\*を行い、提出された議案等について慎重に審査し、議決します。

急ぎよ、決定しなければならないことがあったときなどは、臨時会が開かれる場合もあります。

なお、6月定例会の一般質問については、8ページから11ページまでをご覧ください。

\*議案質疑…市議会に提案され話し合われる案件(議案)について質問すること

## 議会の様子を見るには

本会議や委員会の様子は、子どもを含めどなたでも傍聴していただけます。当日、傍聴受付で住所・氏名を記入し、傍聴券を受け取った後、会場へ出入りできます。

車いすでの傍聴や盲導犬・介助犬を伴っての傍聴も可能です。また、手話通訳者・要約筆記者をご希望の方は、5日前までに議会事務局までお申し込みください。

なお、代表質問や一般質問の様子は、ケーブルテレビやFMラジオで視聴することができます。

\*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、傍聴される方は感染症対策にご協力ください。



# 議案審議結果

～とよた市議会だより～

令和3年

6月  
定例会号

※議案名など一部省略して記載しています

6月市議会定例会に提出された案件		採決結果	会派別賛否 ※自民クラブは議長を除く																
			自民クラブ 27名		市民フォーラム 10名		公明党 4名		諸派 3名										
			賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対									
<b>◆議案</b>																			
第57号	市税条例の一部改正条例	原案可決	26	0	10	0	4	0	2	1									
58	都市計画税条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	2	1									
59	固定資産評価審査委員会条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	3	0									
60	手数料条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	3	0									
61	自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	3	0									
62	救護施設等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	3	0									
63	医療費助成条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	3	0									
64	幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定の要件を定める条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	2	1									
65	地区計画等の区域内における建築物制限条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	3	0									
66	令和3年度一般会計補正予算	//	26	0	10	0	4	0	2	1									
67	令和3年度下水道事業会計補正予算	//	26	0	10	0	4	0	3	0									
68	工事請負契約の締結(若園交流館・若園中学校技術科棟改築工事)	//	26	0	10	0	4	0	3	0									
69	// (若園交流館・若園中学校技術科棟電気設備工事)	//	26	0	10	0	4	0	3	0									
70	// (若園交流館・若園中学校技術科棟給排水衛生空調設備工事)	//	26	0	10	0	4	0	3	0									
71	// (豊田スタジアム長寿命化改修工事(その1))	//	26	0	10	0	4	0	3	0									
72	// (都市計画道路高橋細谷線電宮橋橋りょう整備工事(その7))	//	26	0	10	0	4	0	3	0									
73	// (梅坪小学校施設保全改修工事)	//	26	0	10	0	4	0	3	0									
74	// (前山小学校施設保全改修工事)	//	26	0	10	0	4	0	3	0									
75	// (末野原中学校施設保全改修工事)	//	26	0	10	0	4	0	3	0									
76	// (益富中学校施設保全改修工事)	//	26	0	10	0	4	0	3	0									
77	工事請負契約の変更((仮称)博物館新築準備工事)	//	26	0	10	0	4	0	2	1									
78	// (都市計画道路高橋細谷線電宮橋橋りょう整備工事(その6))	//	26	0	10	0	4	0	3	0									
79	// (朝日丘中学校旧校舎解体・外構整備工事)	//	26	0	10	0	4	0	3	0									
80	財産の取得(放課後児童施設(小清水小学校及び堤小学校))	//	26	0	10	0	4	0	3	0									
81	// (平山こども園用地(平山町ほか地内))	//	26	0	10	0	4	0	3	0									
82	// (地域医療センター胸部X線デジタル検診車)	//	26	0	10	0	4	0	3	0									
83	// (こども発達センターのぞみ診療所電子カルテシステム)	//	26	0	10	0	4	0	3	0									
84	// (基幹バス)	//	26	0	10	0	4	0	3	0									
85	// (消防職員用防火衣上衣ほか5品目)	//	26	0	10	0	4	0	3	0									
86	// (水槽付き消防ポンプ自動車)	//	26	0	10	0	4	0	3	0									
87	// (救助工作車)	//	26	0	10	0	4	0	3	0									
88	令和3年度一般会計補正予算	//	26	0	10	0	4	0	3	0									
89	工事請負契約の締結(若園中学校施設保全改修工事)	//	26	0	10	0	4	0	3	0									
<b>◆同意</b>																			
第3号	人権擁護委員の推薦(再任:伊藤房治氏はじめ3名。新任:阿部恵一氏はじめ6名)	同意	26	0	10	0	4	0	3	0									
<b>◆報告</b>																			
第5号	専決処分の報告(工事請負契約の変更2件、損害賠償額の決定1件、一般会計補正予算1件)	報告																	
6	継続費等の報告	//																	
7	専決処分の報告(訴えの提起2件、工事請負契約の変更1件)	//																	
<b>◆議員提出議案</b>																			
第2号	市議会会議規則の一部改正規則	原案可決	26	0	10	0	4	0	3	0									
3	市議会委員会条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	3	0									
<b>◆議員提出意見書</b>																			
第1号	地方財政の充実・強化を求める意見書(案)	原案可決	26	0	10	0	4	0	3	0									



## 討論

6月市議会定例会最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各会派等が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。\*発言順に記載

根本美春

諸派

令和3年度一般会計補正予算は、中央公園第二期整備計画工事費などの見直しが必要なことから、反対

議案第66号：反対。中央公園第二期整備計画の先行区画の工事費は、これから算定されるとのことだが、整備予算も示されない計画は認められない。豊田スタジアムとの連携、イベントのため、早期に整備する判断について、既存の公園の再整備を早期に進めることが必要。また、博物館新築準備工事費の補正では、博物館新築事業全体への影響は無いものと考え。新型コロナウイルス感染症の感染拡大による市民への影響から、当初の計画である88億円は見直すべきと考え、反対。

北川敏崇

自民クラブ

令和3年度一般会計補正予算、若園交流館建設費は国庫補助金を最大限活用できることから、賛成

議案第66号：賛成。国庫補助金の最大限の活用に向け、国と調整を重ね、交流館部分の補助金である「都市構造再編集中支援事業」が、当初の想定以上に確保できる見込みとなり、予算配分を交流館側で約1億4千万円の増。中学校側でみていた太陽光発電を、より多く補助金がつく交流館側に変更することで、中学校側は約650万円の減。合わせて約1億3350万円の増となるなど、国庫補助金を最大限活用できることを評価して、賛成。

吉野英国

市民フォーラム

小清水小及び堤小の放課後児童施設の建替えは、施設の充実になることから、賛成

議案第80号：賛成。小清水小学校及び堤小学校への施設の建替えは、施設の老朽化状況とともに、参加児童数の動向や将来推計等を勘察し行うことを確認した。この取組により、定員が増大し、参加児童の増加への対応となることを期待する。今後も優先順位の高い施設から順次建替えを進め、安全・安心で良好な児童育成環境の確保と、子どもを預ける保護者のニーズに合った施設の充実となることを期待して、賛成。

大石智里

公明党

市税条例の一部改正で、扶養控除の対象の違いによる不公平の解消を期待して、賛成

議案第57号：賛成。今回の「豊田市市税条例の一部を改正する条例」によって、個人市民税において、扶養家族の定義を所得税に準じたものとするようになる。

これによって、扶養親族の居住場所が国内と国外の違いによって生じていた、扶養控除の対象の不公平という課題が解消されることを評価して、賛成。

岡田耕一

諸派

費用負担、費用請求の考え方を妥当と認めることから、賛成

議案第77号：賛成。過去の土地所有者、排出者責任と本市の費用負担、費用請求の考え方を確認した。当該地は県から譲渡を受け10年以上が経過し、県の責任があったとしても時効が成立して、請求が難しいこと。請負業者が直接撤去を行うこと。運搬、処分については、廃棄物の種類に応じて、専門の許可業者が行うこと。処理費用は、国の統一基準である、公共建築工事積算基準に基づき、適正に積算されていることなどを妥当と認めることから、賛成。

中島竜二

諸派

自転車損害賠償保険等の加入促進の啓発効果を期待して、賛成

議案第61号：賛成。同趣旨の県条例との整合性を図るために、自転車損害賠償保険等の加入について、事業者や貸出事業者に対して努力義務から義務に改正することを評価する。愛知県とより連携を図り、効果的に啓発できるだけでなく、改正を機に、自転車利用者等に対しても改めて周知することによって、更なる啓発が進むことを期待して、賛成。

## 議員提出意見書

### 地方財政の充実・強化を求める意見書

新型コロナウイルス感染症対策により、地方自治体には新たな行政需要が発生し、ワクチン接種体制の構築など、喫緊の課題対応が即時に求められている。少子・高齢化が進展する中、社会保障への対応、子育て支援策の充実、地域交通の維持・確保など、従来からの行政需要も高まりを見せている。また、大規模自然災害やインフラ施設の老朽化による社会経済の機能不全が懸念されており、国土強靱化やデジタル・ガバメントに加え、持続的な経済成長への対応も急務となっている。更には、新型コロナウイルス感染症等の影響により、人材不足の深刻化に加えて、市税は減少し、増大する行政需要には多額の費用が掛かるため、地方財政の財源は、2022年度以降、十分に確保できるのか大きな不安が残されている。

このため、2022年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、コロナ禍による新たな行政需要なども把握しながら、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立をめざすよう、下記事項について特段の措置を講じられるよう強く要望する。

記

- 1 社会保障、感染症対策、防災・減災対策、環境対策、地域交通対策、人口減少対策など、増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、持続的な経済成長を促すよう、地方の財源の充実を図ること。
- 2 新型コロナウイルス感染症対策として、ワクチン接種や疫学調査を始めとした感染症対応業務における人材不足が深刻な状況であるため、早急に保健所の体制強化及び人材確保に必要な財源措置を図ること。
- 3 激甚化、頻発化する自然災害に屈しない、強靱な国土づくりに向け、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の強力な推進に必要な財源を安定

的に確保するとともに、災害発生時における迅速かつ円滑な復旧を支援するTEC-FORCE等の災害対応力の強化のための人員体制の充実を図ること。

4 デジタル・ガバメントにおける自治体業務システムの標準化については、自治体の実情を踏まえるとともに、より完成度の高いシステムを構築し、一定のカスタマイズを可能とするなど、より柔軟に対応すること。また、地域経済を活性化させるためにも、市内企業のデジタル化の支援やデジタル人材の育成などができるように必要な財源措置を図ること。

5 森林環境譲与税の譲与基準については、地方自治体と協議を行い、林業需要の高い自治体への譲与額の増額等の見直しを行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。  
令和3年6月28日  
豊田市議会



## 常任委員会とは

常任委員会は、地方公共団体の議会が地方公共団体の事務に関する調査、議案及び請願等の審査を行わせるために、条例で定め常設する委員会です。本市では、以下の6委員会が常任委員会となります。

## 産業建設 委員会

6月17日、付託された5議案を審査し、議案のすべてを全会一致にて承認しました。

【第65号】地区計画等の区域内における建築物制限条例の一部改正条例

**質問** 渡刈町一丁目地区での地区計画を実現するために、適用した促進策はどのようなか。

**答弁** 活用方針において定めた重点誘導地区に該当しており、農地の取扱いの緩和に基づく農振農用地の除外と、1宅地当たりの敷地面積下限の引下げという2点の促進策を適用している。

【第72号】工事請負契約の締結(都市計画道路高橋細谷線電宮橋橋りょう整備工事(その7))

**質問** 今回の契約では、既契約(その6)工事同様の根固め工に、護岸工が加わったということだが、この護岸工の必要性はどのようなか。

**答弁** 必要性については、河川管理者である国の基準により、河道内に設置した橋脚の影響による流水の乱れ、又は流木などから堤防を保護するためであり、コンクリート護岸工を設置し、堤防の強化を図ることとしている。

根固め工：河川の流水の乱れなどから、川底を保護するための施設  
護岸工：河川の流水の乱れなどから、堤防を保護するための施設

## 環境福祉 委員会

6月18日、付託された4議案を審査し、議案のすべてを全会一致にて承認しました。

【第82号】財産の取得  
(地域医療センター胸部X線デジタル検診車)

**質問** 今回、1台更新とのことであるが、検診車については同様に耐用年数を経過しているものがあると承知している。今後の計画はどのようなか。

**答弁** 今回更新を予定している車両のほか、地域医療センターでは、胸部X線デジタル検診車を1台、心電図検診車を1台保有している。

それぞれの購入時期は、胸部X線デジタル検診車が平成18年度、心電図検診車が平成17年度となっており、この2台についても、市の車両更新基準年である9年を超えている。車両の老朽化が進んでいることに加え、X線画像処理装置は保守契約が終了するため、2台とも令和4年度以降、計画的に買い替えを進めていく。

【第83号】財産の取得  
(こども発達センターのぞみ診療所電子カルテシステム)

**質問** 電子カルテに変更することに伴い、必要となる操作研修の対象人数と研修想定時間、また、負担緩和策はどのようなか。

**答弁** 研修が必要な職員は、のぞみ診療所の医師、看護師、療法士、薬剤師、医療事務職員など、約50人を見込んでいる。研修は、1回約90分の研修会を5回程度受けてもらう予定であり、加えて、自主的な操作研修ができる環境を設ける予定である。

研修に関する負担緩和策としては、1回の研修時間を短くすることや、各職員が自身のスケジュールに合わせて実施できる自主学習の環境を設けること、また自主学習時に電話等による問合せ対応を可能にすることなどを予定している。

## 教育社会 委員会

6月21日及び28日、付託された13議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。

【第68号】工事請負契約の締結から(若園交流館・若園中学校技術)  
【第70号】科棟改築工事(ほか2件)まで

**質問** 中学校側に多目的教室を配置する目的と、設置するに当たり工夫した点はどのようなか。

**答弁** 多目的教室は、クラスや学年を越えた授業の実施や、地域の方が講師となって授業をするなど、多様な学習形態への対応と地域との交流を目的に設置する。

設計上の工夫は、廊下部分を広めに取り、ワークスペースとして活用できるようにしたことや、教室とワークスペースの間仕切りを可動式とすることで一体的に利用することも可能としたことである。

また、ワークスペースの上部には天窓を設け、採光や省エネに配慮しながら、明るい雰囲気となるよう工夫している。

【第80号】財産の取得  
(放課後児童施設(小清水小学校及び堤小学校))

**質問** 今回のプロポーザル方式のメリットはどのようなか。

**答弁** プロポーザル方式で事業者を募集したことで、参加業者が増加し、競争性が増した結果、経費を抑えつつ、児童にとってより良い提案内容を選択できた。

また、2年ほどかかっていた事業期間が、今回は約1年に短縮された点もメリットとなっている。



# 委員会

## 地域生活

委員会

6月22日、付託された4議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。

【第61号】自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例の一部改正条例

質問

自転車損害賠償保険等の加入の義務化に伴う、事業者や貸出事業者への周知方法はどのようなか。

答弁

周知方法については、歩行者保護モデルカー活動を推進している市内の運輸事業者や、豊田商工会議所、地区安全運転管理協議会、交通安全協会各支部等、交通安全の推進に取り組んでいる各種団体をもって構成される豊田市交通安全市民会議を通じて、改正内容を掲載した情報紙の送付などにより、周知を図っていく。

また、市のホームページによる情報発信のほか、県や警察と連携した街頭活動等を通じて、加入義務の必要性を幅広く周知、啓発していく。

【第86号】財産の取得及び（水槽付き消防ポンプ自動）  
【第87号】車（ほか1件）

質問

更新基準年数を過ぎた旧車両の処分方法について、これまでは開発途上国等への無償譲渡を優先してきたと承知しているが、今回から売却することになった理由はどのようなか。

答弁

法人市民税の一部国税化の影響等により、厳しい財政状況が見込まれるため、令和3年度からは財源確保を目的に売却を優先することとした。

## 企画総務

委員会

6月23日、付託された4議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。

【第57号】市税条例の一部改正条例

質問

平成30年度から始まったセルフメディケーション税制について、直近の適用された現状と、延長による今後の見通しはどのようなか。

答弁

令和2年度にセルフメディケーション税制の適用を受けた市民は119人で、所得控除額は総額で約390万円、税額にすると約23万円の減額となっている。

現状、セルフメディケーション税制の適用を受ける市民は、医療費控除の適用を受けている市民約2万人と比較すると少ないが、制度の延長により、市民自らによる健康保持、疾病予防への取組が進んでいくものと見込まれる。

【第60号】手数料条例の一部改正条例

質問

個人番号カードの再交付には、外国人もいるとのことだが、個人番号カードに関わる申請の際の書面等に注意喚起等の案内はあるのか。また、今後外国人へどのように周知していくのか。

答弁

個人番号カードの有効期限については、個人番号カード交付時に説明するとともに、6か国語のお知らせ文書で案内をしている。

今後は、市ホームページに、外国人の個人番号カードの有効期限の注意点を追加掲載し、市民がいつでも照会できるようにしていく。

## 予算決算

委員会

6月16日から28日までに付託された補正予算3件を審査し、すべての案件を承認しました。

【第66号】令和3年度一般会計補正予算歳出

質問

ひかりこども園及び御作こども園、2園の整備完了後、こども園のトイレの洋式化における整備率及び今後の整備計画はどのようなか。

答弁

公立こども園の幼児用トイレ全体に対する洋式化率は、整備後に82.4%となる見込みである。また、幼児用トイレの洋式化率が50%以下である園について整備を進めてきたが、今回補正予算を計上する2園をもって整備完了となる。

今後は、洋式化率80%未満の園、27園について整備を進める予定であり、令和3年度は5園について改修設計を実施していく。

質問

事業の進捗状況も踏まえ、この時期の予算要求となった理由及び、補正予算で追加された内容も含めた令和3年度の事業内容はどのようなか。

答弁

中央公園第二期整備事業については、令和2年12月に都市計画決定し、また、令和3年3月には、豊田農業振興地域整備計画の変更を行い、事業実施に向けた準備を進めた。その結果、今回の6月補正予算を要求することとした。

令和3年度の事業内容は、民間事業者等のサウンディングや農業用送水管の設計などである。この補正予算により、公園本体の事業における造成や排水の詳細設計を行っている。



## 市政を問う!

6月14日から16日にかけて、21人の議員が市政の方針や考え方などについて問う「一般質問」を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。

### 羽根田利明

自民クラブ



- 新型コロナウイルス感染症対策への対応
- 支え合いのまちづくりの推進
- 男女共同参画社会の実現

#### 質問 同性パートナーシップ制度の導入

LGBT支援の具体的制度を導入する絶好の機会。「実効性ある同性パートナーシップ制度の導入」について問う。

#### 答弁 市長

当事者および関係者は、日常生活での行動や発言に様々な制約があると考え。様々な不利益を被っている現状が、この豊田市においてもあり、そのような状況を少しでも解消し、一人ひとりが尊重され、多様な個性を認め合い、地域社会とつながり、参画できる地域共生社会の実現に向け、取り組んでいくことが必要。今後は、「同性パートナーシップ宣言制度」の7月中の導入に向け、市民の理解と共感を得ながら、制度設計を進めていく。

### 水野博史

自民クラブ



- エネルギーの最適利用に向けた未来へ

#### 質問 本市が牽引するエネルギー成長戦略

豊田市つながる社会実証推進協議会と連携し、未来への戦略を本市から提案し、構築していく考えを問う。

#### 答弁 企画政策部

豊田市つながる社会実証推進協議会では、「資源・エネルギーの地産地消」を解決すべき課題に位置付け、様々なエネルギーマネジメント実証に取り組んできた。今後、再生可能エネルギーを最大限活用するためには、創エネ、蓄電池、電動車などの蓄エネの普及を加速化させ、エネルギーをマネジメントする仕組みを実装化する必

要がある。この取組を「つながる社会実証推進協議会」のメンバーに提案し、官民連携による様々な実証実験に挑戦し、先進的な取組の実装化を目指していく。



面ノ木風力発電所

### 岩田 淳

自民クラブ



- 流域治水関連法に伴う豊田市防災まちづくり

#### 質問 矢作川水系流域治水プロジェクト

平成12年9月、東海豪雨が本市を襲った。流域治水を踏まえた、「中央公園第2期整備事業」の進め方を問う。

#### 答弁 建設部

第2期整備は令和元年度に公園整備の方針を示したが、治水政策上「流域治水」への大転換がされた。整備事業区域は、灌水しやすい特性があり、周辺地域の雨水を貯留させて矢作川への負担を減らすことができることから、浸水被害の軽減につなげるため、流域治水プロジェクトに位置付けた。大雨時は流域治水対策の効果を発揮しつつ、平時は市民活動の場となる空間整備を図っていく。令和3年度から一部区域において用地買収に着手する予定だが、併せて流域治水と調和した公園の整備方針について更に検討を進める。

### 窪谷文克

自民クラブ



- 都市部における空き家対策

#### 質問 都市部特有の空家等の対策

分譲マンションが適正に管理されることが必要。空き住戸を増やさないための管理対策を問う。

#### 答弁 都市整備部

令和2年6月に「マンションの管理の適正化の推進に関する法律」が改正。地方公共団体が管理適正化のための指導等を行う。地方公共団体が「マンション管理適正化推進計画」を作成し、適切な管理を誘導。本市においては、国の支援を受けながら、管理運営の状況やこれまでの修繕の実施状況、修繕計画の策定状況等、分譲マンションの管理実態等の調査を実施。この結果を基に、マンション管理適正化推進計画の作成を進め、所有者等の適切な管理を促していく。

### 古木吉昭

市民フォーラム



- 第3次地域経営戦略プランの実現を目指して

#### 質問 行政課題の解決に向けて

西山公園は民間活力導入には向かないと聞いた。公園などの公共施設等の管理における官民連携の拡大を問う。

#### 答弁 総務部

直営施設の多くは、草刈りや清掃、安全点検等の作業についても、民間事業者や地元自治区等へ委託。公共施設における官民連携については、指定管理者制度やPFIなどの活用を基本方針として進めている。直近では、鞍ヶ池公園においてパークPFIという手法を用いて、施設の魅力向上や効率的な管理運営に取り組んでいる。今後も、公共施設の管理に限らず、第3次地域経営戦略プランの基本方針に沿って、官・民それぞれの強みを生かしながら、行政課題の解決を図りたい。



※質問順に掲載しています。

※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム  
公明党：公明党豊田市議団 諸派：会派所属無

## 一般質問

### 中島 竜二

諸派



●市民ニーズの多様化に対応した都市公園

#### 質問 インクルーシブ公園

障がいの有無にかかわらず誰もが楽しめる遊具のある公園が必要。インクルーシブ公園に関して見解を問う。

答 弁 都市整備部

さまざまな利用ニーズがある中で、障がいの有無にかかわらず安全・安心に利用できる公園であることは大変重要な視点と認識している。インクルーシブな考え方の公園整備については、障がいなどを含めた利用者の多様性の理解や共有の下、福祉的・教育的な観点を踏まえながら、遊具や施設の更新に併せて、総合的な視点で対応を判断していく。

### 岡田 耕一

諸派



- 新型コロナウイルスワクチン接種への対応
- 駅西再開発ビルに関連する今後の展開
- フォレストヒルズ跡地の利活用
- 開発手続条例に関する今後の対応

#### 質問 安心、安全、不公平感のないワクチン接種

愛知県による新たな接種スケジュール等が追加されるなら、豊田市も対象自治体とするよう県へ要請できないか。所見を問う。

答 弁 保健部

愛知県が実施する大規模接種会場での接種については、既に実施している会場に参加するのではなく、新たに開設する会場での参加を考えている。具体的には、県が西三河地方に新たに開設する大規模接種会場で、本市市民が接種できるよう、現在、愛知県と予約方法やシャトルバスの運行など、実務的な連絡調整を進めている。

今後、詳細が決まり次第、市民に公表していく。

### 倉山 和之

市民フォーラム



●社会参加支援による健康寿命延伸

#### 質問 介護予防に通じる社会参加の促進

民間の活力を生かしたSIB事業が始まる。既存の介護予防事業と何が違うか、事業のプログラム内容を問う。

答 弁 企画政策部

高齢者の社会参加を促進するプログラムを、民間の創意工夫により創出し提供する。プログラムは、オンラインを活用したものとコロナ対策を講じた上で対面で実施するものがあり、オンラインを活用したものの例は、日本語を学びたい海外の方と高齢者をつないでコミュニケーションを創出、声優に発声練習を教えてもらったりし、対面の例では、健康の測定会となるセミナーを組み合わせたプログラムや、高齢者へのお宅へ訪問し、一緒に食事をしたりするプログラムなどが候補である。

### 神谷 丈一

自民クラブ



- スクールロイヤー機能の拡充
- 学習用タブレットを有効活用する学習環境

#### 質問 学習用タブレットを生かした今後の方向性

不便さが生じている現状を踏まえ、「学習用タブレットと校務用パソコンの連携」を提言。市の見解を問う。

答 弁 教育部

令和3年5月に文部科学省から授業系と校務系のネットワークの統合を目指した教育情報セキュリティガイドラインが示された。本市では、ネットワーク統合のモデル校を小・中学校でそ

れぞれ1校指定し、令和3年度中に実証実験を行う予定。実証実験では授業改善や業務の検証を行う。この検証で最も効果の高いネットワークの統合方法を見定めるとともに、令和4年8月を目標に、全校でのネットワークの統合を見据えている。



タブレットを使用した授業の様子

### 根本 美春

諸派



- 新型コロナウイルス感染の封じ込めへの転換を
- 生理の貧困への救済

#### 質問 高齢者施設等の職員に対する定期的なPCR検査

愛知県及び豊田市は、高齢者施設等への職員に対するPCR検査回数を1人当たり最大6回まで拡充した。実施施設・人数の実績についての課題と検査を進めるための今後の対応を問う。

答 弁 福祉部

豊田市では、事業者が希望すればPCR検査を受けられる体制を整えているが、受診の申込みをしていない施設もある。本市としては、5月18日までに申込みがなかった施設に対し、受診勧奨を行い、その後も期間を空けて受診勧奨を行っている。これにより、受診する施設は増えているため、引き続き、受診勧奨に努めていく。



# 市政を問う!

議員氏名  
会派名



**奥村 峰生**

自民クラブ



- ふるさとづくりおいでんまつりの充実
- 地域資源を生かしたまちづくり

**質問** ツーリズムとよたの機能強化

ツーリズムとよたの地元観光の発展に向けた展開を問う。

**答弁** 産業部

短期経営計画2021-2022では、持続的な観光誘客と観光消費による経済効果を高める3つの戦略を掲げている。戦略I「持続可能な観光地域づくりに向けた仕組みづくり」では、本市の観光資源を整理し、観光客に販売。戦略II「デジタルマーケティングを主軸としたプロモーション」では、ホームページやSNSの定期的な配信。戦略III「長期的な視点によるインバウンドの推進」では、継続して本市の観光情報を提供。観光関係者で構築する「観光地域づくり法人」として国からの承認を目指す。

**中尾 俊和**

市民フォーラム



- 子どものいじめ防止の取組

**質問** いじめ認知向上に向けた取組

SNSによるいじめの認知取組と、タブレットを活用した教員がいじめを認知できる仕組みの構築に対する、市の考えを問う。

**答弁** 教育部

アンケートや本人からの訴え、保護者からの相談、教員が子どもの変化に気づき聞き取りをし、他のいじめと同様の方法で認知し、対応している。各学校で実施しているいじめアンケートの中に「パソコンや携帯電話、スマートフォンでのいじめ」の項目を入れ、SNSによるいじめやトラブルの発見に努めている。学習用タブレットを活用した相

談は、今年度中には仕組みをつくる予定。児童生徒が教員に相談したいと思ったときに、相談の意思をためらうことなく伝えられる仕組みにしたい。

**近藤 厚司**

自民クラブ



- 高齢者が安心して生活できる支援体制の充実
- ストックマネジメント計画などから見る水道事業

**質問** 介護に関わる人材への支援体制

介護に携わる人材確保は喫緊の課題。市が取り組む介護人材確保について、課題認識と具体的施策を問う。

**答弁** 福祉部

介護人材の確保については、引き続き重要な課題として認識し、豊田市社会福祉協議会事業の介護職員初任者研修を拡充するなど注力。人材の定着のため、事業所のマネジメント層に対するキャリアアップ支援研修に取り組む。モチベーションにつながる資格取得の取組も併せて行っていく必要がある。令和2年度から補助対象となった県の補助制度の活用を考えている。今後も、介護人材の生の状況を把握し、様々な支援策を通じて、介護人材の確保・育成に取り組んでいく。

**日當 浩介**

市民フォーラム



- 新型コロナウイルスワクチン接種への対応
- 災害から命を守る取組

**質問** 市政情報の発信

市政情報は、市民力を発揮する原動力である。市民の理解と協力につながる市政情報の発信について考えを問う。

**答弁** 市長

新型コロナウイルスワクチン接種の情報は、広報とよた、ホームページなどの媒体のほか、報道の力も借りなが

ら発信しているが、行政情報が膨大であるがゆえに、一人ひとりの市民にとって必要な情報が見出しにくい。今回、地域の団体やキーパーソンである自治区長や民生・児童委員などに口コミで広げてもらったことで様々な共助の取組につながり感謝している。今後もこうした取組を災害を始めとした緊急情報などの発信にも広げ、更なる発信力の強化につなげていきたい。

**吉野 英国**

市民フォーラム



- コロナ禍における高齢者支援対策の強化

**質問** 高齢者施設への感染症対策支援

施設間の連携を強化し、体験してきた情報の共有が必要。各施設の業務継続計画向上への取組について問う。

**答弁** 福祉部

業務継続計画の策定後も、施設・事業所・法人内における人員確保や、他の事業者、行政等との連携について、常に最新の状況を確認するとともに、必要な物資を備蓄しておく等の取組が重要となる。また、市内事業所では実際に利用者や職員に感染者が発生していることから、これらの経験も市が行う研修や各種会合で共有することにより、業務継続計画に反映してもらい、各事業所の体制向上を図っていく。

**小島 政直**

公明党



- 新型コロナウイルス感染症への対応
- 包括連携協定の活用

**質問** 企業との包括連携協定締結の可能性に向けて

本市における包括連携協定はメリットがあると考え。包括連携協定締結の考え方と方向性について問う。

**答弁** 生涯活躍部

企業側が希望する連携事業が1つ

○一般質問の大きなテーマ(大項目)  
●以下の質問に関連している項目

**質問** 一般質問の小さいテーマ(中項目)  
実際に質問した内容(小項目)

**答弁** 回答した部局名  
質問に対する市の担当部局の回答

の分野に限定され、事業内容が明確な場合には、「個別の分野における協定」について協議を進め、両者の合意により個別協定を締結。第8次総合計画で示す複数の分野において、社会課題の解決に資する連携事業が進み、又は連携事業の見通しを立てることができれば、包括連携協定について協議を進め、両者の合意により協定を結んでいく。第8次総合計画の将来都市像の実現を目指していく上で、企業との共働は重要な視点である。

**杉浦 健史**

自民クラブ



- 再生可能な資源・エネルギーの更なる活用
- 地域材利用拡大の推進

**質問** ゼロカーボンシティ実現への取組

ゼロカーボンシティ実現を目指すため、脱炭素への明確な姿勢を表すべき。実現に向けた目標設定と計画の必要性を問う。

**答弁** 環境部

ゼロカーボンシティ実現に向けた目標については、今年度中間見直しを行う「豊田市地球温暖化防止行動計画」の中で、2050年のCO<sub>2</sub>排出量ゼロに向けた中長期の目標を明記。2050年までの具体的な取組を示した計画については、社会動向や技術革新の変化が日進月歩であるため、ゼロカーボンシティ実現に向けたロードマップを描きつつ、現時点では2025年までの豊田市地球温暖化防止行動計画の進捗評価や見直しを行いながら着実に進めていくことが重要。

**福岡 靖純**

自民クラブ



- 国際交流と多文化共生のまちづくり

**質問** 多文化共生における日本語教育

各世代で日本語教育の取組が始ま

った。日本語教育を進めるため、今後の方針と事業実施への反映を問う。

**答弁** 経営戦略部

日本語教育における実施方針は、令和3年度の第3次国際化推進計画の策定の中で決めていく予定。子どもから大人までの多世代における日本語教育の在り方を整理するとともに、これまでの課題である、幼児から義務教育期間までの支援のあり方と行政の役割について、実施方針として整理していきたい。その方針に基づき、現在実施している事業を見直すとともに、新たな事業を展開することにより、外国人市民の言葉の障壁が緩和するよう取り組んでいく。

**鈴木 孝英**

市民フォーラム



- ソーシャルインパクトボンドへの取組
- ふるさと納税への取組

**質問** 今後のSIB

SIBは地域課題の解決に向けた有効な手段と考える。今後のSIBを活用した対象事業拡大に向けた市の取組を問う。

**答弁** 企画政策部

本事業は、事業の期間や規模も、これまでの事例に比べ大規模なものであり、事業スキームの確立や横展開に向け、挑戦的な要素を含んでいる。このため、5年間の事業を実施する中で、効果測定を行うとともに、運用上の課題や他分野での活用可能性の整理など、制度自体の評価検証を合わせて行う。こうした取組を踏まえ、介護予防分野以外でも導入の可能性が高い分野や効果を期待できる分野を選定できれば、各部署と共に具体的な協議を行っていく。

**木本文也**

自民クラブ



- 愛される博物館を目指して

**質問** エコフルタウンの機能移転と役割

エコフルタウンの機能を博物館へ移転する経緯と、機能移転する具体的な内容を問う。

**答弁** 企画政策部

エコフルタウンは平成24年に開設し、令和3年8月末までの借地契約に基づき運営。パビリオンの情報発信機能を博物館に組み入れることで、博物館が目指す過去から未来の紹介など、更なる機能強化を図ることができると判断。SDGsの普及促進や取組の展示のほか、豊田市つながる社会実証推進協議会の取組や先進技術などを展示し、実証事業から商品化された機器の導入を図る取組も進めていきたい。

**大石 智里**

公明党



- 多胎児家庭への育児支援の充実
- 不登校児童生徒の教育機会の確保
- おくやみコーナーの開設

**質問** おくやみコーナーの開設

おくやみコーナー開設への検討状況と、おくやみコーナーが取り扱うことができない事務の支援について問う。

**答弁** 市民部

死亡後の複数の手続をワンストップでできる窓口としておくやみコーナーを11月に開設予定。窓口は南庁舎1階に新設する。死亡時の住所が豊田市にあった方の遺族が利用できる。事前に必要な手続を把握するため、コーナー利用は電話による予約制とする。相続が決まってから対応が必要な事務や専門的な知識が必要な事務は、引き続き各所管課窓口にて取り扱う。市役所以外の手続については、新たに作成するハンドブックで案内する予定である。



## 全国市議会議長会表彰



令和3年5月26日に書面開催された全国市議会議長会定期総会において、市議会議員を10年勤められた6名の議員が、表彰を受けました。

6月市議会定例会の開会前に議場において、太田博康議長から表彰状が手渡されました。

◀写真右から

山口光岳議員、深津真一議員、板垣清志議員、木本文也議員、中村孝浩議員、古木吉昭議員

## 豊田市議会ホームページ～インターネットで閲覧できます～

本市議会の情報やお知らせを幅広く紹介しています。

会議録をインターネットで閲覧できる検索システムも、便利にご利用いただけます。キーワードや発言者、会議日などで検索できますので、どうぞご活用ください。

また、議会中継の録画映像放映により、過去の代表質問や、各定例会の一般質問の様子をご覧いただけます。下記ホームページからアクセスし、ご利用ください。

<http://toyota-shigikai.jp/>



ホームページの右上にある「**会議録検索システム**」から検索できます。ぜひご覧ください。



▲豊田市議会公式ホームページのトップページ

## 市議会の予定

## 9月市議会定例会は9月3日(金)開会予定です

### ★代表・一般質問の様子を視聴できます★



豊田市議会  
ホームページで

インターネット録画放送 <http://toyota-shigikai.jp/>  
豊田市議会 検索 ▶ 「動画で見る!代表・一般質問」をクリック!



「市議会だより」のバックナンバーや  
会議録もご覧いただけます。

<http://toyota-shigikai.jp/movie.html>

一般質問の様子をスマートフォン等から  
閲覧できるようになりました。

※パケット通信が必要になりますので、  
携帯端末等での視聴はWi-Fi環境を  
おすすめいたします。



ケーブルテレビで

ひまわりネットワーク 生中継&録画放送  
チャンネル/121ch(ひまわりチャンネル)



FMラジオで

FMとよた(ラジオ・ラビート)生中継  
チャンネル/78.6MHz

※この冊子は、折込み「6月市議会定例会号」です。

## ご意見・ご感想

「市議会だより」についてのご意見・ご感想、  
また、市議会へのご意見・ご要望もお受け  
していますので、下記までお寄せください。

【宛先・お問い合わせ】

**豊田市議会事務局**

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地

TEL.0565-34-6665

FAX.0565-34-6566

Eメール [gikai@city.toyota.aichi.jp](mailto:gikai@city.toyota.aichi.jp)



豊田市議会は、古紙配合  
率70%の再生紙と植物油  
インキを採用しています。